

HP Network Node Manager i Software

Windows[®] および Linux オペレーティングシステム用

ソフトウェアバージョン : NNMi 10.00

HP Network Node Manager i Software—Cisco Systems CiscoWorks
LAN Management Solution 統合ガイド

ドキュメントリリース日 : 2014 年 5 月
ソフトウェアリリース日 : 2014 年 5 月



ご注意

保証について

HP 製品とサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。HP では、ここに記載されている技術的、または編集上の不正確さや脱漏については責任を負いません。

ここに記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。

権利制限について

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP が提供する有効なライセンスが必要です。FAR 12.211 および 12.212 に準拠し、商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメント、および商用アイテムの技術データは、ベンダーの標準商用ライセンスの下、米政府にライセンスされています。

著作権について

© Copyright 2008–2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標に関する通知

Adobe® は Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Intel® は、Intel Coporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft® および Windows® は Microsoft Corporation の米国内での登録商標です。

Oracle および Java は Oracle およびその関連会社の登録商標です。

Red Hat® は、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

UNIX® は The Open Group の登録商標です。

Oracle テクノロジーの制限された権限に関する通知

国防省連邦調達規則補足 (DOD FAR Supplement) に従って提供されるプログラムは、「商用コンピューターソフトウェア」であり、ドキュメントを含む同プログラムの使用、複製および開示は、該当する Oracle 社のライセンス契約に規定された制約を受けるものとします。それ以外の場合は、連邦調達規則に従って供給されたプログラムは、「制限されたコンピューターソフトウェア」であり、関連文書を含むプログラムの使用、複製、および公開は、FAR 52.227-19、『商用コンピューターソフトウェア - 制限された権限』(1987年6月)に記載されている制限に従うものとします。Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

Oracle ライセンスの全文は、NNMi の製品 DVD にある license-agreements のディレクトリを参照してください。

謝辞

この製品には、Apache Software Foundation で開発されたソフトウェアが含まれています。
(<http://www.apache.org>)

この製品には、Indiana University Extreme! Lab で開発されたソフトウェアが含まれています。
(<http://www.extreme.indiana.edu>)

使用可能な製品ドキュメント

このガイドに加え、次のドキュメントが NNMi について利用できます。

- **HP Network Node Manager i Software** ドキュメント一覧 — HP マニュアル Web サイト上にあります。このファイルを使用して、このバージョンの NNMi の NNMi ドキュメントセットにある追加や改訂を調べることができます。リンクをクリックして、HP マニュアル Web サイト上のドキュメントにアクセスします。
- **NNMi インストールガイド** — これは対話型ドキュメントで、NNMi 製品メディアで入手できます。詳細については、製品メディアの `nnmi_interactive_installation_ja_README.txt` ファイルを参照してください。
- **HP Network Node Manager i Software アップグレードリファレンス** — HP マニュアル Web サイトから入手できます。
- **HP Network Node Manager i Software 『リリースノート』** — 製品メディアおよび NNMi 管理サーバーから入手できます。
- **HP Network Node Manager i Software システムおよびデバイス対応マトリックス** — 製品メディアおよび NNMi 管理サーバーから入手できます。
- **HP Network Node Manager iSPI Network Engineering Toolset 計画とインストールガイド (HP Network Node Manager iSPI Network Engineering Toolset Planning and Installation Guide)** — NNM iSPI NET 診断サーバー製品メディアにあります。

最近の更新を確認する場合、または最新のドキュメントを使用しているか確認する場合は、以下をご覧ください。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passport への登録とサインインが必要です。HP Passport ID の取得登録は、次の Web サイトから行なうことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport のログインページの [**New users - please register**] リンクをクリックします。

製品のサポートサービスに登録すると、最新版を入手できます。詳細は HP 販売員にお尋ねください。

サポート

次の HP ソフトウェアサポートオンライン Web サイトを参照してください。

www.hp.com/go/hpsoftwaresupport

この Web サイトには、製品、サービス、および HP Software が提供するサポートの問い合わせ情報および詳細が記載されています。

HP ソフトウェアオンラインサポートには、お客様の自己解決機能が備わっています。ビジネスを管理するために必要な対話形式のテクニカルサポートツールにアクセスする迅速で効率的な方法が用意されています。お客様は、サポート Web サイトで以下の機能を利用できます。

- 関心のあるドキュメントの検索
- サポートケースおよび拡張リクエストの送信および追跡
- ソフトウェアパッチおよび関連パッチのドキュメントのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポートの問合せ先の検索
- 利用可能なサービス情報の確認
- ソフトウェアを利用している他のユーザーとの情報交換
- ソフトウェアトレーニング情報の検索および参加登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport ユーザー ID のご登録は、以下の URL で行ってください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルに関する詳細は、次の URL で確認してください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

2014年5月

目次

| | |
|--|----|
| HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合 | 9 |
| 値 | 9 |
| 統合製品 | 10 |
| ドキュメント | 10 |
| HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合の有効化 | 10 |
| HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合の使用法 | 11 |
| HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合設定の変更 | 12 |
| HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合の無効化 | 12 |
| HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合のトラブルシューティング | 12 |
| Cisco Systems CiscoWorks LMS アクションが機能しない | 12 |
| トラップの MIB キャッシュメッセージで OID を検出できない | 13 |
| [HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS の統合設定] フォームのリファレンス | 13 |
| NNMi 管理サーバー接続 | 13 |
| Cisco Systems CiscoWorks LMS サーバー接続 | 14 |

Cisco Systems CiscoWorks LAN Management Solution

Cisco Systems CiscoWorks LAN Management Solution (Cisco Systems CiscoWorks LMS) は、Cisco ネットワークの設定、管理、監視、およびトラブルシューティングを行うための管理ツールの統合スイートです。

この章には、以下のトピックがあります。

- [HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合](#)
- [HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合の有効化](#)
- [HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合の使用法](#)
- [HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合設定の変更](#)
- [HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合の無効化](#)
- [HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合のトラブルシューティング](#)
- [\[HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS の統合設定\] フォームのリファレンス](#)

HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合

HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合では、NNMi コンソールから Cisco Systems CiscoWorks LMS ツールにアクセスするためのアクションを使用できます。

値

HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合は、Cisco Systems CiscoWorks LMS 情報を HP NNMi に追加し、HP NNMi ユーザーが Cisco デバイスの潜在的なネットワーク問題を検出および調査できるようにします。

統合製品

この章の情報は、以下の製品に当てはまります。

- Cisco Systems CiscoWorks LMS



サポートされるバージョンは、NNMi システムとデバイス対応マトリックスにリストされています。

- HP NNMi 10.00

HP NNMi と Cisco Systems CiscoWorks LMS は、別々のコンピューターにインストールする必要があります。NNMi 管理サーバーと Cisco Systems CiscoWorks LMS サーバーのコンピューターで使用するオペレーティングシステムは、同じでも、異なっても構いません。

HP NNMi でサポートされているハードウェアプラットフォームおよびオペレーティングシステムの最新情報については、『NNMi システムとデバイス対応マトリックス』を参照してください。

Cisco Systems CiscoWorks LMS でサポートされているハードウェアプラットフォームおよびオペレーティングシステムの最新情報については、ご使用のバージョンのマニュアルを参照してください。例：

- Cisco Systems CiscoWorks LMS:

http://www.cisco.com/en/US/docs/net_mgmt/cisworks_lan_management_solution/4.0/install/guide/prereq.html

ドキュメント

この章では、Cisco Systems CiscoWorks LMS と通信するように HP NNMi を設定する方法、および NNMi コンソールから統合を使用する方法について説明します。

HP NNMi–Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合の有効化

NNMi 管理サーバーで、以下の手順に従って HP NNMi と Cisco Systems CiscoWorks LMS 間の接続を設定します。

- 1 NNMi コンソールで、[HP NNMi-CiscoWorks LMS の統合設定] フォーム ([統合モジュールの設定] > [CiscoWorks LMS]) を開きます。
- 2 [統合の有効化] チェックボックスをオンにし、フォームの残りのフィールドに入力できるようにします。
- 3 NNMi 管理サーバーへの接続情報を入力します。これらのフィールドの詳細については、13 ページの [NNMi 管理サーバー接続](#) を参照してください。
- 4 Cisco Systems CiscoWorks LMS サーバーへの接続情報を入力します。これらのフィールドの詳細は、14 ページの [Cisco Systems CiscoWorks LMS サーバー接続](#) を参照してください。

- 5 フォームの下部にある [送信] をクリックします。
新しいウィンドウが開き、ステータスメッセージが表示されます。NNMi 管理サーバーへの接続に問題があることを示すメッセージが表示されたら、[戻る] をクリックして、エラーメッセージを参考に値を調整してください。
- 6 Cisco Systems CiscoWorks LMS 管理対象デバイスのインシデント定義をロードします。
 - a ディレクトリを次のように変更します。
 - Windows の場合: %NnmInstallDir%\newconfig\HPOvNmsEvent
 - Linux の場合: \$NnmInstallDir/newconfig/HPOvNmsEvent
 - b 以下のコマンドを入力して、Cisco Systems CiscoWorks LMS インシデント定義をインポートします。

```
nnmconfigimport.ovpl -f nnm-cisco-incidentConfig.xml ¥
-u <username> -p <password>
```
- 7 オプションおよび推奨事項。Cisco Systems CiscoWorks LMS 管理対象デバイスが生成するトラップの MIB 定義ファイルをロードします。
 - a デバイスメディアまたは Cisco Systems Web サイトから、適切な MIB ファイルを入手します。

```
tools.cisco.com/Support/SNMP/do/SearchOID.do?local=en&step=1
```
 - b MIB ファイルを格納するディレクトリに変更します。
 - c nnmloadmib.ovpl コマンドを使用して、管理対象環境の適切な MIB ファイルをロードします。例:

```
nnmloadmib.ovpl -load cpqhost.mib -u <username> -p <password>
```
 - d 以下のコマンドを入力して、MIB が正常にロードされたことを確認します。

```
nnmloadmib.ovpl -list -u <username> -p <password>
```

HP NNMi–Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合の使用法

HP NNMi–Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合では、NNMi コンソールから Cisco Systems CiscoWorks LMS へのリンクを使用できます。この統合では、製品間のシングルサインオン機能は提供されません。Cisco Systems CiscoWorks LMS ページを表示するには、Cisco Systems CiscoWorks LMS ユーザー資格証明を入力する必要があります。

HP NNMi–Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合を有効にすると、以下のアクションが NNMi コンソールに追加されます。

- **CiscoWorks LMS Device Center** — 選択したノードのコンテキストで Cisco Systems CiscoWorks LMS Device Center を開きます。
- **CiscoWorks LMS CiscoView** — 選択したノードのコンテキストで Cisco Systems CiscoWorks LMS CiscoView を開きます。

HP NNMi–Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合設定の変更

- 1 NNMi コンソールで、[HP NNMi-CiscoWorks LMS の統合設定] フォーム ([統合モジュールの設定] > [CiscoWorks LMS]) を開きます。
- 2 該当するように値を変更します。このフォームのフィールドの詳細は、13 ページの [HP NNMi–Cisco Systems CiscoWorks LMS の統合設定] フォームのリファレンスを参照してください。
- 3 フォームの上部にある [統合の有効化] チェックボックスがオンであることを確認し、フォームの下部にある [送信] をクリックします。

▶ 変更はただちに有効になります。ovjboss を再起動する必要はありません。

HP NNMi-Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合の無効化

- 1 NNMi コンソールで、[HP NNMi-CiscoWorks LMS の統合設定] フォーム ([統合モジュールの設定] > [CiscoWorks LMS]) を開きます。
- 2 フォームの上部にある [統合の有効化] チェックボックスをオフにし、フォームの下部にある [送信] をクリックします。これで、統合アクションを使用できなくなります。

▶ 変更はただちに有効になります。ovjboss を再起動する必要はありません。

HP NNMi–Cisco Systems CiscoWorks LMS 統合のトラブルシューティング

Cisco Systems CiscoWorks LMS アクションが機能しない

[HP NNMi-CiscoWorks LMS の統合設定] フォームの値が正しいことを確認しても NNMi コンソールから Cisco Systems CiscoWorks LMS ページを開くことができない場合は、以下の手順を実行します。

- 1 Web ブラウザーのキャッシュをクリアします。
- 2 Web ブラウザーから、すべての保存フォームまたはパスワードデータをクリアします。
- 3 Web ブラウザーウィンドウを完全に閉じてから、もう一度開きます。
- 4 [HP NNMi-CiscoWorks LMS の統合設定] フォームに値を再入力します。
- 5 Cisco Systems CiscoWorks LMS が実行中であることを確認します。

トラップの MIB キャッシュメッセージで OID を検出できない

Cisco Systems CiscoWorks LMS 管理対象デバイスが生成するトラップの MIB 定義ファイルが NNMi にロードされない場合は、以下のテキストのようなエラーメッセージが表示されます。

<Cia .1.3.6.1.4.1.11.5.7.5.2.1.1.1.7.0 with value 1 was not found within the mib cache>

このようなエラーを解決するには、11 ページの [手順 7](#) の説明に従って MIB をロードします。

[HP NNMi–Cisco Systems CiscoWorks LMS の統合設定] フォームのリファレンス

[HP NNMi–CiscoWorks LMS の統合設定] フォームには、HP NNMi と Cisco Systems CiscoWorks LMS 間の通信を設定するためのパラメーターが含まれています。このフォームは、[統合モジュールの設定] ワークスペースから使用できます。



[HP NNMi–CiscoWorks LMS の統合設定] フォームには、Administrator ロールの NNMi ユーザーのみがアクセスできます。

[HP NNMi–CiscoWorks LMS の統合設定] フォームでは、以下の一般領域に関する情報を収集します。

- [NNMi 管理サーバー接続](#)
- [Cisco Systems CiscoWorks LMS サーバー接続](#)

統合設定に変更を適用するには、[HP NNMi–CiscoWorks LMS の統合設定] フォームの値を更新し、[送信] をクリックします。

NNMi 管理サーバー接続

表 1 に、NNMi 管理サーバーへの接続パラメーターをリストします。これは NNMi コンソールを開くために使用したのと同じ情報です。これらの値の多くを決定するには、NNMi コンソールセッションを起動する URL を調べます。HP NNMi 管理者と協力し、設定フォームのこのセクションに適切な値を決定します。

表 1 NNMi 管理サーバー情報

| フィールド | 説明 |
|--------------|---|
| NNMi SSL 有効化 | 接続プロトコル指定。 <ul style="list-style-type: none"> • HTTPS を使用するように NNMi コンソールが設定されている場合は、[NNMi SSL の有効化] チェックボックスをオンにします。これがデフォルト設定です。 • HTTP を使用するように NNMi コンソールが設定されている場合は、[NNMi SSL の有効化] チェックボックスをオフにします。 |
| NNMi ホスト | NNMi 管理サーバーの完全修飾ドメイン名。このフィールドには、NNMi コンソールへのアクセスに使用するホスト名があらかじめ入力されています。この値が、NNMi 管理サーバー上で <code>nnmofficialfqdn.ovpl -t</code> コマンド実行によって返された名前であることを確認します。 |

表 1 NNMi 管理サーバー情報 (続き)

| フィールド | 説明 |
|------------|--|
| NNMi ポート | <p>NNMi コンソールに接続するためのポート。このフィールドには、次のファイルで指定されているように、NNMi コンソールとの通信のために jboss アプリケーションサーバーが使用するポートがあらかじめ記入されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows: %NnmDataDir%\%conf%\nnm\props\nms-local.properties • Linux: \$NnmDataDir/conf/nnm/props/nms-local.properties <p>SSL 以外の接続では、nmsas.server.port.web.http の値を使用します。これはデフォルトでは 80 または 8004 です (HP NNMi がインストールされたときに別の Web サーバーが存在するかどうかで、どちらかが決まります)。</p> <p>SSL 接続には、nmsas.server.port.web.https の値を使用します。これはデフォルトでは 443 です。</p> |
| NNMi ユーザー | <p>NNMi コンソールに接続するためのユーザー名。このユーザーは、HP NNMi Administrator または Web Service Client のロールを持っている必要があります。</p> |
| NNMi パスワード | <p>指定の HP NNMi ユーザーのパスワード。</p> |

Cisco Systems CiscoWorks LMS サーバー接続

表 2 に、Cisco Systems CiscoWorks LMS サーバーに接続して Cisco Systems CiscoWorks LMS ページを開くためのパラメーターを示します。Cisco Systems CiscoWorks LMS 管理者と協力し、設定のこのセクションに適切な値を決定します。

表 2 Cisco Systems CiscoWorks LMS 管理サーバー情報

| Cisco Systems CiscoWorks LMS サーバーパラメーター | 説明 |
|---|--|
| Cisco Systems CiscoWorks LMS SSL 有効化 | <p>Cisco Systems CiscoWorks LMS に接続するための接続プロトコルの指定。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HTTPS を使用するように Cisco Systems CiscoWorks LMS が設定されている場合は、[CiscoWorks LMS SSL の有効化] チェックボックスをオンにします。これがデフォルト設定です。 • HTTP を使用するように Cisco Systems CiscoWorks LMS が設定されている場合は、[CiscoWorks LMS SSL の有効化] チェックボックスをオフにします。 |
| Cisco Systems CiscoWorks LMS ホスト | <p>Cisco Systems CiscoWorks LMS サーバーの完全修飾ドメイン名。</p> |
| Cisco Systems CiscoWorks LMS ポート | <p>Cisco Systems CiscoWorks LMS Web サービスに接続するためのポート。デフォルトの Cisco Systems CiscoWorks LMS 設定を使用する場合は、ポート 1741 (Cisco Systems CiscoWorks LMS へ非 SSL 接続する場合) またはポート 443 (Cisco Systems CiscoWorks LMS へ SSL 接続する場合) を使用してください。</p> |

フィードバックをお待ちしております。

ご使用のシステムに電子メールクライアントが設定されている場合は、デフォルトで、ここをクリックすると電子メールウィンドウが開きます。

使用可能な電子メールクライアントがない場合は、Web メールクライアントの新規メッセージに以下の情報をコピーして、**ovdoc-nsm@hp.com** にこのメッセージを送信してください。

製品名およびバージョン: NNMi 10.00

ドキュメントタイトル: HP Network Node Manager i Software-Cisco Systems CiscoWorks LMS
統合ガイド

フィードバック: